

＜本年度の目標＞

- 校長から示された、教育課程の編成及び学校経営に関する全体構想を深く理解し、その進捗状況を常に見守り、必要な支援、提言等を的確に行う。
- 各委員は、会議において常に積極的に発言し、前項の目標を達成するための真の熟議の場となるよう努力する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校運営の基本方針についての説明は分かりやすくよく理解できた。ただ、この方針に沿って教育活動を推進するにあたり、現状どんな障害や課題があるのか学校として頭を悩ませていることは何かなど具体的でオープンな情報提供がほしい。それらがないとこの協議会が問題解決のための熟議の場として機能できない。示された基本方針案は、校長先生以下、全職員の英知を集めたものであるため異議をはさむ余地はほとんどない。したがってすんなり承認されるがそれだけでは議論が深まらないからだ。また、いじめ基本方針の説明を受け、職員一丸となって真剣に対応していることに安堵した。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ 会議の中での報告や年間わずかの授業参観、あるいは学校行事等の参観だけで教育活動の推進状況や成果、課題などを正しく深く理解することは実際には難しい。これを補完するためには難しいことかもしれないが、子供たちと対話する機会や先生方、あるいはPTA役員さんたちとの懇談の機会が設定できたらよいと思う。このような機会があれば協議会としての課題が明らかになり、協議の質も高まるのではないと思う。
- ・ 学校から「あいさつ日本一」を旗印に安全で安心できる居場所づくり、子供たちの自主性の構築や地域との連携など、項目にそって丁寧かつ熱意ある説明を受け、委員間で熟議を進めることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ このことに関しては、コミュニティスクールだよりで学校ホームページやブログ等を通じて情報発信がなされ、地域には自治会を通じた文書回覧により周知されるとともに、地域関係機関の会合において情報発信をしたが、まだ不十分である。地域の皆さんや保護者の皆さんにこの制度の仕組みや協議会の果たす役割等について十分に周知されてはいない気がする。どうすれば認知されていくのかどんな情報発信をすればよいのか他校の様子も参考にしたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 上記1・2項目の評価を踏まえ、協議会の進め方を改善する。
 - ① 学校からの報告・提案等は紙上の文章だけで済ませ、改めての説明は省く。そのかわりに計画推進に伴う障害や課題については詳細に説明していただく。会議資料は事前に各委員に連絡児童等を通じて届けていただく。各委員は資料を熟読し、質問事項や意見等をまとめておく。
 - ② 紙上報告(提案)で生まれた時間を熟議充実の時間として確保する。授業参観は保護者参観日も利用する。これによりさらに時間の確保ができる。
 - ③ 可能ならば、先生方や保護者代表の方々との懇談の場や子供たちとの対話の機会を設定する。来年度の目標は、上記の改善策を取り入れつつ、目標については本年度同様とする。